

株式会社 東郷電機製作所

# 2015年度 環境活動レポート

(対象期間:2015年 4月～2016年 3月)



作成日：2016年 6月 15日

改訂日：2016年 9月 7日

## 《目次》

---

	ページ
① 組織の概要	1
② 対象範囲	1～2
③ 環境方針	3
④ 環境目標	4
⑤ 環境活動計画	4～5
⑥ 環境目標の実績	5
⑦ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	6
⑧ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	7
⑨ 代表者による全体評価と見直し	7
⑩ 環境活動の紹介	8

## 《① 組織の概要》

---

### (1) 事業者名及び代表者名

株式会社 東郷電機製作所  
代表取締役社長 前田 和雄

### (2) 東郷電機グループ認証対象事業所及び所在地

株式会社 東郷電機製作所

- 本社工場 鳥取県東伯郡湯梨浜町門田906番地1
- 上井工場 鳥取県倉吉市上井町1丁目101
- 赤碕工場 鳥取県東伯郡琴浦町松谷274番地3

有限会社 ワイテック

- 米子工場 鳥取県米子市河崎22-1
- 松江工場※

- ・第1工場 島根県松江市東津田町1824番地
- ・第2工場 島根県松江市東津田町1201番地5

※松江工場は第1・第2工場の2サイトがあるが、松江工場として1つで運用管理を行っている。

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

- ・ 環境管理責任者 山崎 俊哉 TEL:0852-31-2080
- ・ 担当者 総務課 西田 仁 TEL:0858-32-1811

### (4) 事業の規模

項目	2015年度	2014年度	2013年度
製品出荷額	953百万円	1,015百万円	1,000百万円
主要製品生産数	125,599千個	187,759千個	149,936千個

2015年度	本社工場	上井工場	赤碕工場	米子工場	松江工場
従業員(人)	211	27	33	44	34
延べ床面積(m <sup>2</sup> )	5,319	934	1,928	872	449

## 《② 対象範囲》

---

### (1) 事業内容、認証・登録範囲

- ・ 電子部品(スイッチ・コネクタ)の生産
- ・ 組立設備及び検査設備の設計/製作

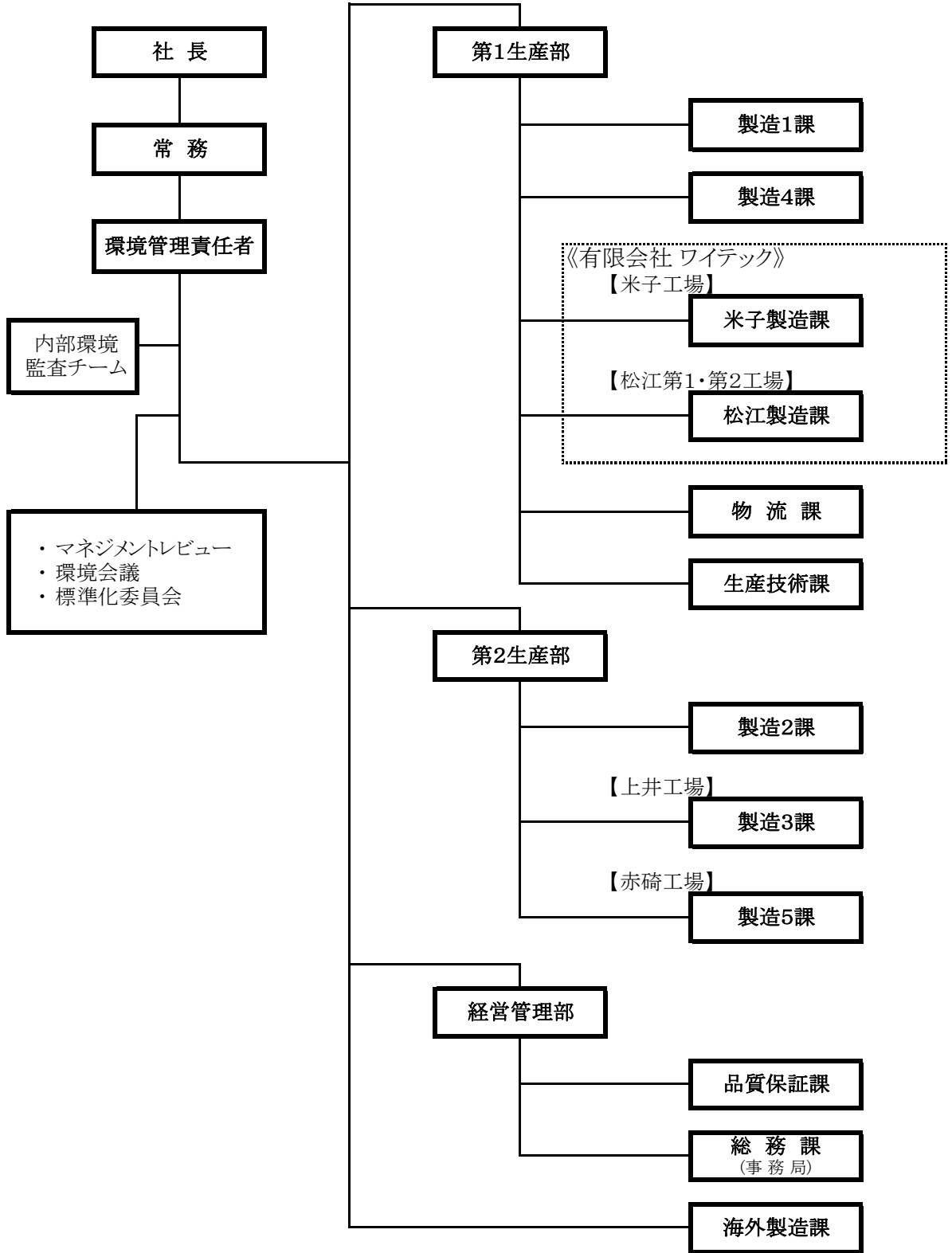
### (2) レポートの対象期間

- ・ 2015年 4月 1日 ~ 2016年 3月 31日
- ・ 発行日 2016年 6月 15日
- ・ 改訂日 2016年 9月 7日

(3) 東郷電機グループ環境管理組織図

※エコアクション21での認証対象外組織はない

《株式会社東郷電機製作所:本社工場》



## 東郷電機グループ 環境方針

### 基本理念

東郷電機グループは、環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し、「環境に優しく」「人に優しく」をスローガンとして地域社会との共生を大切にし、電子部品(スイッチ・コネクタ)の生産を通じて環境管理活動を自主的・積極的に推進して行きます。

### 活動方針

1. 環境保全活動として、次の事を重点課題として取組みます。
  - ① 地球温暖化の抑制のため、電力・化石燃料の省エネ活動を行い二酸化炭素等の温室効果ガスの削減に取り組めます。
  - ② 製品の生産における省資源化に取り組めます。
  - ③ 循環型社会形成のため、リサイクルの推進と廃棄物の適正な処理を行います。
  - ④ 化学物質の適正な管理・使用、およびグリーン購入を推進します。
  - ⑤ 自然環境の保全活動を推進して行きます。
2. 環境目標を設定し、定期的にその効果を評価し、必要に応じて見直しを行うと共に継続的改善に取り組めます。
3. 環境関連の法規制およびその他の要求事項を遵守します。
4. 環境への取組を環境活動レポートにまとめ公表いたします。

制定日 2011年 10月 1日  
改訂日 2016年 3月 3日

代表取締役社長 **前田 和雄**

## 《④ 環境目標》

項目	単位	2010年度 基準年	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 目標	中長期目標		
						2016年度	2017年度	
CO2排出量の削減	kg-CO2 基準年度比	1,344,709 -	1,265,302 94.1%	1,380,120 102.6%	1,387,536 103.2%	1,373,997 102.2%	1,360,501 101.2%	
電力使用量の削減	kWh 基準年度比	2,506,494 -	2,380,548 95.0%	2,614,962 104.3%	2,632,380 105.0%	2,607,250 104.0%	2,582,213 103.0%	
化石燃料使用量の削減	灯油	L 基準年度比	30,151 -	22,902 76.0%	21,174 70.2%	20,800 69.0%	20,500 68.0%	20,200 67.0%
	ガソリン	L 基準年度比	10,452 -	10,731 102.7%	11,627 111.2%	11,513 110.2%	11,381 108.9%	11,248 107.6%
	軽油	L 基準年度比	793 -	976 123.1%	1,271 160.3%	1,261 159.0%	1,253 158.0%	1,245 157.0%
リサイクル率の向上	% 基準年度比	81.7 -	89.1 109.1%	90.3 110.5%	91.0 111.4%	92.0 112.6%	93.0 113.8%	
廃棄物の削減	kg 基準年度比	116,854 -	111,457 95.4%	132,159 113.1%	111,204 95.2%	110,033 94.2%	108,862 93.2%	
水使用量の削減	m3 基準年度比	13,295 -	5,815 43.7%	5,268 39.6%	5,176 38.9%	5,045 37.9%	4,911 36.9%	
グリーン購入品目 点数	点 基準年度比	53 -	82 154.7%	82 154.7%	84 158.5%	86 162.3%	88 166.0%	

注) 化学物質については、顧客からの製品の仕様書で使用量等が決められている。環境目標の設定は難しいが、環境活動計画において適正管理に努める。

## 《⑤ 環境活動計画》

取組計画	対象年度		備考
	2015年度	2016～2017年度	
1. 二酸化炭素排出量の削減			
1.1 電力使用量の削減			
① 電力使用量の監視システムの導入検討	○	-	費用対効果が見込めず
② エアモレ箇所の点検・修理、吹きっばなし箇所の改善	○	-	
③ コンプレッサー運用方法の見直しによる稼働時間の削減	○	○	
④ 生産性改善活動による、電力削減量を評価する	○	○	
⑤ 省エネエアコンへの交換実施	○	○	
⑥ 東郷第1工場のLED照明への切替	○	○	
1.2 化石燃料使用量の削減			
① ボイラー出湯温度管理の実施:灯油	○	○	
2. リサイクル率の向上(廃棄物の削減)			
① リサイクル品目の拡大し、リサイクル率を向上させる	○	○	
② 廃棄物分別パトロールの実施	○	○	
3. 水使用量の削減			
① トイレに水流し擬音器の取付	○	-	
4. グリーン購入の推進			
① 事務用品のグリーン購入品目の選定・拡大	○	○	
② グリーン購入品目の他工場への水平展開	○	-	
5. 化学物質の適正管理の実施			
① 法規制の義務化に向けて実施手順の見直しを進める	○	○	

取組計画	対象年度		備考
	2015年度	2016～2017年度	
6. 環境教育・訓練の実施			
① 各工場毎で防災訓練を計画し実施する	○	○	
② 環境負荷に対する専門教育の実施	○	○	
③ RoHS指令とREACH規則の基本知識の習得	○	-	
④ 東郷工場・東郷池周辺のボランティア活動の実施	○	○	

## 《⑥ 環境目標の実績》

### 《総量での評価》

評価：○：目標に対して達成、×：目標未達

項目	単位	2010年度 基準年 a	2015年度		差異		評価	排出 係数	
			目標 b	実績 c	c-a	c-b			
CO2排出量の削減	kg-CO2 基準年度比	1,344,709 -	1,387,536 103.2%	1,293,229 96.2%	-51,480	-94,307	○	-	
電力使用量の削減	kWh 基準年度比	2,506,494 -	2,632,380 105.0%	2,466,241 98.4%	-40,253	-166,139	○	0.496 kg-CO2/kWh	
化石燃料 使用量の削減	灯油	L 基準年度比	30,151 -	20,800 69.0%	18,161 60.2%	-11,990	-2,639	○	2.492 kg-CO2/L
	ガソリン	L 基準年度比	10,452 -	11,513 110.2%	9,385 89.8%	-1,067	-2,128	○	2.322 kg-CO2/L
	軽油	L 基準年度比	793 -	1,261 159.0%	1,115 109.0%	322	-146	○	2.624 kg-CO2/L
リサイクル率の向上	% 基準年度比	81.7 -	91.0 111.4%	91.7 112.2%	10.0	0.7	○	-	
(廃棄物の削減)	kg 基準年度比	116,854 -	111,204 95.2%	108,706 93.0%	-8,148	-2,498	○	-	
水使用量の削減	m3 基準年度比	13,295 -	5,176 38.9%	5,223 39.3%	-8,072	47	×	-	
グリーン購入品目 点数	点 基準年度比	53 -	84 169.8%	86 154.7%	33	2	○	-	

注) 電力使用量におけるCO2排出係数 0.496kg-CO2/kWhは、2009年の中国電力 調整後の排出係数を用いている。

### 《製品出荷高 百万円当りの原単位推移》

項目	単位	2010年度 基準年	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績
CO2排出量の削減	kg-CO2 基準年度比	1,175	1,240 105.5%	1,265 107.7%	1,359 115.7%	1,358 115.6%
電力使用量の削減	kWh 基準年度比	2,190	2,322 106.0%	2,381 108.7%	2,576 117.6%	2,589 118.2%
廃棄物の削減	kg 基準年度比	102.11	96.19 94.2%	111.47 109.2%	130.18 127.5%	114.12 111.8%
水使用量の削減	m3 基準年度比	11.62	5.34 46.0%	5.82 50.1%	5.19 44.7%	5.48 47.2%

## 《 ⑦ 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 》

実施状況：◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全く出来なかった

実行計画テーマ/達成手段	実施状況	評価(結果と今後の方向性)	
		取組結果	今後の方向性
1. 二酸化炭素排出量の削減			
1 電力使用量の削減			
① 東郷工場 工場(フロア)毎の電力使用量の監視システムの導入検討	△	・費用対効果が見込めず、電力監視システムの導入はしない	—
② エアモレ箇所の点検・修理、吹きっぱなし箇所の改善	○	・コンプレッサの稼働時間が前年比で約12%減少した	◇エアモレの都度修理を行い、コンプレッサの効率的運用につなげる
③ コンプレッサ運用方法の見直しによる稼働時間の削減			
④ 生産性改善活動による改善効果として、電力削減量を評価する	×	・活動を進めたが、評価までつながらなかった	◇メインの取組みとして活動を進める
⑤ 省エネエアコンへの交換	○	・全体で7台の交換を行い、約3.5万kWh/年の節電効果となった	◇東郷/上井/米子工場において計画的に導入検討を進める
⑥ 東郷第1工場のLED照明への切替	×	・米子工場 16灯の切替をおこなったが、東郷工場では切替を見送った	◇24H稼働のエリアを中心に導入検討を進める
1 化石燃料使用量の削減			
① ボイラー出湯温度管理の実施:灯油	○	・出湯温度基準を設定し、運用を開始した	◇継続して運用する
2. リサイクル率の向上(廃棄物の削減)			
① リサイクル品目の拡大 ※現状のリサイクル品目点数 ・東/上/赤 33/全37品目 ・米子工場 14/全21品目 ・松江工場 10/全11品目	○	・米子工場:リサイクル拡大(1品目) ・東郷工場:サーマル → 原料リサイクルへの切替を3品目実施した	◇廃棄物の適正処理を継続して取組む
② 廃棄物分別パトロールの実施			
3. 水使用量の削減			
① トイレへの水流し擬音器の取付	○	・機器を設置し、使用量の削減につなげた	◇漏水に注視し、使用量の推移を監視する
4. グリーン購入の推進			
① 事務用品のグリーン購入品目の選定・拡大	○	・4品目をグリーン購入品へ切替した ・他工場への展開を実施し、完了した	◇該当品の購入を優先し、購入履歴を都度精査する
② グリーン購入品目の他工場への水平展開			
5. 化学物質の適正管理の実施			
① 2016年度からの法規制の義務化に向けて実施手順の見直しを進める	×	・化学物質のリスクアセスメント実施に向け整備を行った	◇年度前半で社内展開実施を行う
6. 環境教育・訓練の実施			
① 各工場毎で防災訓練を計画し実施する	○	・油流出時の対応訓練と全工場で防災訓練を実施した	◇全工場で緊急事態訓練を継続して行う
② 環境負荷に対する専門教育の実施	△	・エアモレ/コンプレッサの管理について整合会(OJT)を開催した	◇全従業員を対象に定期的に啓蒙を行う
③ RoHS指令とREACH規則の基本知識の習得	○	・外部講師による基礎教育を実施した	
④ 東郷池周辺のボランティア活動の実施	○	・のべ50名の参加者にて活動を行った	◇継続して活動を進めて行く



## 《⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無》

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況	評価
水質汚濁防止法	貯油施設(灯油タンク)の事故時の処置と届出	○	
浄化槽法	米子・赤碕工場の浄化槽の点検/清掃の実施	○	
下水道法	排水基準の遵守	○	
悪臭防止法	赤碕工場におけるトルエンの使用	○	
毒物及び劇物取締法	劇物:トルエンの取扱い管理の実施	○	
有機則	イソプロピルアルコール、メタノール、アセトン、トルエン等の使用における管理の実施	○	
PRTR法	指定化学物質の移動量を把握し、一定基準以上であれば届出	○	
消防法	可燃性液体の保管、東郷工場におけるボイラーの使用届出	○	
廃掃法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ・不燃物等)の適正処理	○	
家電リサイクル法	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機の廃棄時の処置	○	
小型家電リサイクル法	家電リサイクル品以外の小型家電の適正処理と資源の有効活用	○	
自動車リサイクル法	業務用自動車の廃棄時の処置	○	
フロン排出抑制法	業務用冷蔵空調機器におけるフロン類の管理	○	
騒音・振動規制法	上井・松江第1・第2工場におけるコンプレッサー設置届出	○	
工場立地法	敷地・生産施設・緑地・環境施設等の面積が変更となる場合の届出	○	

遵守状況 ○: 全く問題なく遵守されている

△: 遵守されているが、一部に改善すべきことがある

×: 法の基準が遵守されていない

### (1) 違反・訴訟の有無

過去5年以上、関係当局からの環境関連法規違反の指摘はありません。また、訴訟も生じておりません。

## 《⑨ 代表者による全体の評価と見直し》

(1) マネジメントレビュー実施日 : 2016年 3月 3日

(2) 代表者による見直し

2015年度は、電力使用量に影響するエアークロム消費量の削減活動に取組み、電力使用量が前年度比で5.7%の減少につながった。一方、2015年度は生産金額で6.2%減少し、電力使用量の原単位としては前年度比0.6%増と推移し改善につながっていない。引き続き、原単位を改善させることに取組む。

2016年度は、生産性・品質改善活動を、環境負荷低減とリンクさせ取組む。

## 《 ⑩ 環境活動の紹介 》

### 1. 電力削減の主な活動・取組み

- ① エア漏れの対策を実施し、エアコンプレッサーの効率に着手し、稼働時間の削減につながった。
- ② 省エネ機器への更新を行った。

東郷、上井、赤碕、米子各工場にてエアコンの更新（9台）

米子工場 LED照明を16灯導入、自動販売機を省エネタイプへの入替を実施

### 2. 設備の洗浄用として使用していたジクロロメタン含有洗浄液から代替洗浄液に切替を実施



### 3. 水洗トイレへの擬音機の設置

2度流しを抑制し節水につなげるため、全社で30箇所の水流し擬音機の取付を完了。全社的に水使用量の減少となった。

### 4. 油流出事故時の訓練



汚染・被害の拡大防止策として公共水域（農業用用水）で、土のう・フェンスを設置した油回収の訓練を行った。

### 5. 防災訓練（火災発生時）

火災発生時の初期動作、初期消火（消火器/消火栓）、通報、避難、安否確認までの一連の訓練を実施した。



### 6. 地域ボランティア活動への参加

#### 自分たちの住む町・働いている地域を自分たちが美しくしよう

湯梨浜町が進めている「東郷池を守り育てるアダプトプログラム」に共感し年2回の活動にのべ50名で、東郷池・会社周辺の清掃活動を実施した。

